

令和3年(2021年)8月30日(月曜日)

三島市 愛着率最高 86.8%

市民意識調査 住みやすさ 90.7%
86.8%

(三島支局・金野真仁)
た。

三島市は、18歳以上の市民2千人を対象に実施した市民意識調査の結果をまとめた。市への愛着率は調査を始めた2003年度以降で最高値の86.8%（前年比0.03%増）だった一方、不満率は道路など都市基盤整備に関する項目が上位に並んだ。

都市基盤整備に不満も

居住環境や市の取り組み満足度など、継続調査が13項目、広報活動や図書館などに関する新規調査が4項目。5月12～31日に郵送かインターネットで市民に質問し、1106件（有効回答率58.3%）の回答を得た。市の取り組みに関しては、「せせらぎと緑や花を生かしたまちづくり」など、自然と調和した都市整備が高い評価を集めた。住みやすいとの回答率は「非常に」「どちらかといえば」を含む合わせて90.7%に上った。一方、項目別不満率では歩道、生活道路の整備が上位に入り、再開発計画が進む三島駅周辺など都市基盤のさらなる充実を求める声が多く寄せられた。10年前年を0.07%下回った。